

平成27年度 糖尿病看護資質向上研修プログラム

研修目的: 県内看護師の糖尿病看護への質の向上を図るため、糖尿病専門分野における臨床実践能力の高い看護師を育成する。
 研修目標: 糖尿病患者およびその家族が持つ様々な問題に対して質の高い看護が提供できる。

①糖尿病患者を理解できる ②糖尿病看護技術を習得できる ③チーム医療の中で糖尿病看護が担える

科目	内容	講義内容	講義時間数	演習内容	演習時間数	実習内容	実習時間数	総時間	9日間	6日間+発表会1日
糖尿病患者の理解	糖尿病患者の身体理解 (血糖調節機能/医学的治療)		1			教育入院症例、合併症症例など1例を受け持つ。受け持ち患者の看護展開を通し、身体理解・心理・社会状況・発達段階・家族の理解を深める。事例ワーキング、研修生同士のカンファレンス、スタッフとのカンファレンスを通し、理解を深める。社会資源に関する情報収集をする。	10	19	オリエンテーション・講義および演習	レポートおよび最終カンファレンス・面接
	合併症(視力障害/神経障害/腎障害/脳・心血管障害)をもつ糖尿病患者の身体理解	網膜症検査と治療・手術 神経障害の検査と治療 糖尿病性腎症の検査と治療、進展予防 その他の合併症と妊娠糖尿病	1 1 1 1							
	検査の見方・活かし方		1							
	糖尿病患者の心理・社会的状況の理解	糖尿病と心理	1							
	糖尿病患者の各発達段階 (学童期・思春期・妊娠期・壮年期・老年期)	小児と糖尿病 糖尿病高齢者の看護	1 1							
	薬物療法時の支援	セルフモニタリング(尿糖・血糖自己測定・その他のモニタリング)を活用した生活調整への援助		1	血糖・尿糖・体重・血圧自己測定と記録					
	薬物療法を行う患者の援助(経口剤・インスリン療法)	薬物療法 薬物療法時の留意点 インスリン導入時の看護	1 1 1	インスリン注射	2	4				
食事療法時の支援	食習慣の把握およびそのアセスメント		1	食事記録と食事療法の実施			4	8		
	食事による生活調節への援助	食事療法のトピックス 腎症の食事療法 食生活への援助	1		1 1					
運動療法時の支援	運動習慣の把握およびそのアセスメント		1				3	9		
	運動療法指導		1							
血糖パターン マネージメント			1				3			
心理状態および 行動変化に応じた支援	病いの体験への援助	病いの体験と病みの軌跡	1			受け持ち患者での展開: 理論を応用し、受け持ち患者の専門的な患者理解を深める。カンファレンス・事例検討、発表、家族の援助を検討する。	6	8		
	疾病受容や行動変容に関する援助	自己効力感	1							
日常生活行動への支援	清潔行動への援助(皮膚・口腔・感染予防)		1			指導者またはスタッフが実際におこなっている指導の場面を見学する。(糖尿病教室、個別指導、療養指導など)。受け持ち患者を通しての実施する。受け持ち症例やカンファレンスで検討した症例を通して、合併症による機能障害が日常生活に及ぼす影響をアセスメントし、他者からの支援や必要な社会資源を活用した支援を行う。	10	15		
	フットケア指導		1							
	合併症(視力障害・神経障害・腎障害・脳心血管障害)により機能障害をきたした患者への援助		1							
家族への支援			1							
禁煙への支援		喫煙の影響と禁煙支援の進め方	1							
全人的看護支援実践法	アセスメント・アセスメント演習		1		4			19		
	ケアプラン・ケアプラン演習		1		5					
	アセスメント・ケアプラン演習				6					
リスクマネージメント	インスリンエラー対策 血糖降下剤に関するリスクマネージメント 感染対策(院内・自己管理)		1	演習	4					
退院調整と地域連携		退院調整、訪問看護との連携	1	退院支援・退院調整演習			3	16		
		地域連携パス 滋賀県の地域特性	1							
システム立案		看護外来の立ち上げ 糖尿病教育システムの立案	1	演習(糖尿病教室見学会)	6		1			
			31				48	109		